

令和4年3月24日（木）

6年修了証書授与式における激励のことば

東原庠舎中央校 下村昌弘

- 6年生の皆さん、1年間の勉強、ご苦労様でした。全員が無事、令和3年度の修了式を迎えることができました。そしていわゆる小学校6年間の学習も本日で終了。今度は中学校の内容の学びが始まります。
- 皆さんとは5年生の時に一緒に宿泊訓練で黒髪少年自然の家には行きましたが、今年度長崎への修学旅行には一緒に行くことができず、とても残念に思っていました。
- 皆さんの前で話をする機会もあまりありませんでした。今日は、私も来年度からこの学校を離れることになりましたので、最後のはなむけとして3つのことを伝えたいと思います。



- まずは、心と体の成長についてです。
- 皆さんは12年間の人生を終えました。干支が一回り回り終えたわけです。その意味ではいい節目になります。一つ大人になるわけです。これを5回繰り返すと12×5で60歳。60歳を還暦。暦がまわって赤ちゃんにもどることを意味します。ですから今は人生を5階建てのビルにたとえると、その2階に上がるイメージですね。
- さて、そういう大人の階段を登って4月からは7年生になるわけですね。おめでとう。7年生は青年期といって、体も心も変化の大きい時期に入ります。身体がだんだん大人に近づいていきます。同時に、心が外に向かったり内に向かったりします。変化が大きいということは安定しない、つまり不安定ということです。
- しかし、それは成長の証拠です。心配しないでいいです。不安になったら、話しやすいお家の人や先輩や先生に遠慮なく相談に来てください。

- 特にこれまでに習ってきた先生がたは、皆さんを長い間身近に見てくれていました。そういう先生が近くにいることがこの学校の良さの一つです。
- 次に、高校選びを早めに始めほしいということです。
- 3年後に必ず進学の時が来ます。脅すわけではありませんが、それは避けられない道です。受験にフライングはありません。だから早くその意識をもつことです。どの高校に行きたいか。自分でよく調べてください。
- 高校やその先の大学を考えると、多久にこだわらなくてもいいと思います。いったん多久から離れて、幅広い視野をもって多久に戻ってくればいい。一度多久を離れてみて初めて多久の良さが分かるのであり、新しい発見ができると思います。



- 最後は学力を上げるということです。
- 学力はペーパーテストで図る力だけではありません。頑張ろうとする意欲、自分で考えようとする力、言葉で表現し相手に伝える力、そういうものすべてが学力です。
- こうした力は、何よりも一時間一時間の授業、国語や数学や英語といった教科の勉強の中で身に付いていきます。
- 7年生は教科書も厚くなり、教科ごとに全て先生が変わります。それだけ内容が深く詳しくなるということです。裏を返せば、それだけ学問の深さやおもしろさが味わえるということです。そこを大いに楽しみにしてください。
- でもそれを味わうためにも、しっかり勉強してください。聖書には「求めよ、さらば与えられん」という言葉があります。積極的に行動すれば、おのずから成果が得られます。4月からは新たな気持ちで頑張ってください。
- 長くなりました。本校は5、6、7年を一つのブロックとして教育活動を進めています。7年生は中学年ブロックの最上級学年です。5、6年生の身近なモデルに、あこがれの先輩になってほしいと思っています。

- そして、来年のこの時期に「立志式」があります。「修了式」はどちらかという
と後ろを振り返る儀式ですが、「立志式」は将来を切り開く儀式です。その「立志
式」では、家の方にも参列してもらって、今日以上に素敵な儀式が開催されるは
ずです。
- 来年の立志式に向けた皆さんのこれからの頑張りを大いに期待しています。不
安やドキドキを大いに楽しんでしっかり頑張ってください。以上で私の話を終わ
ります。

